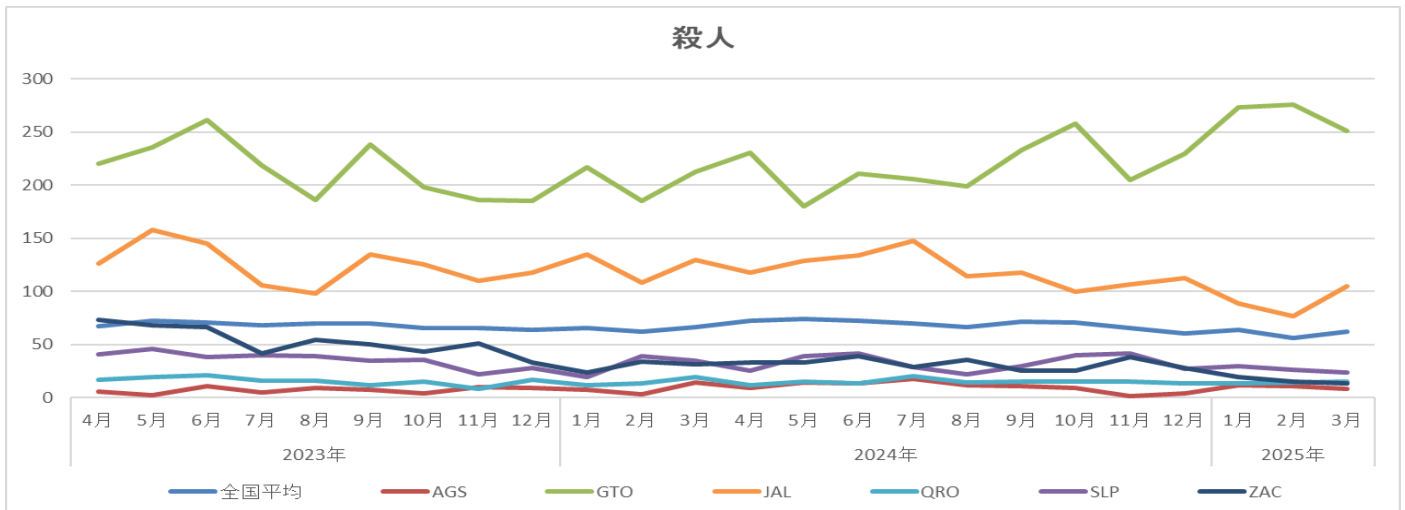
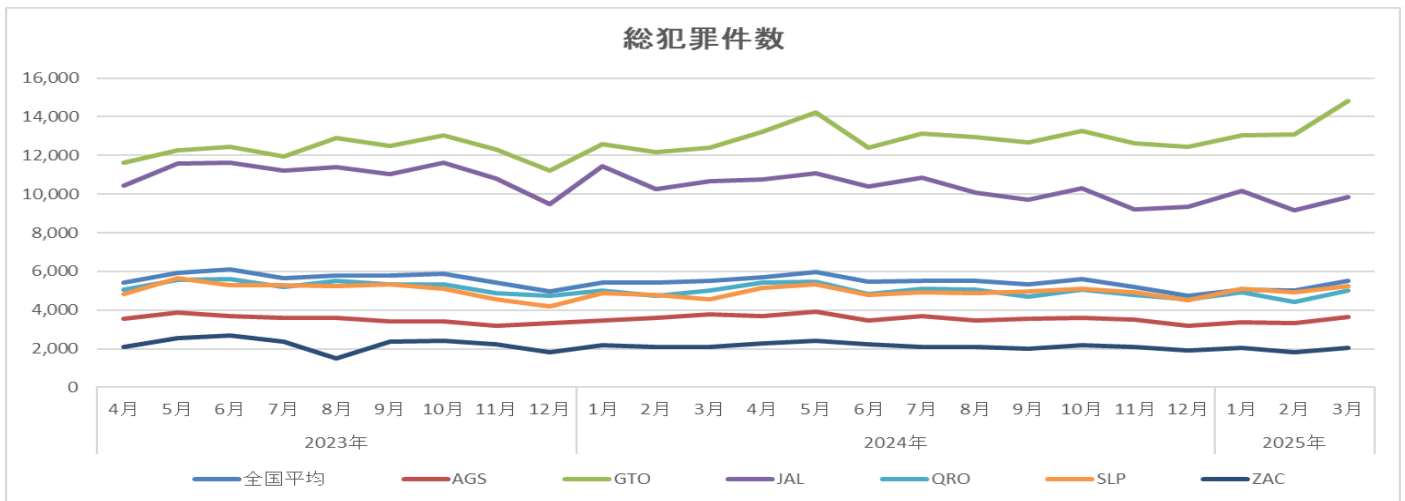


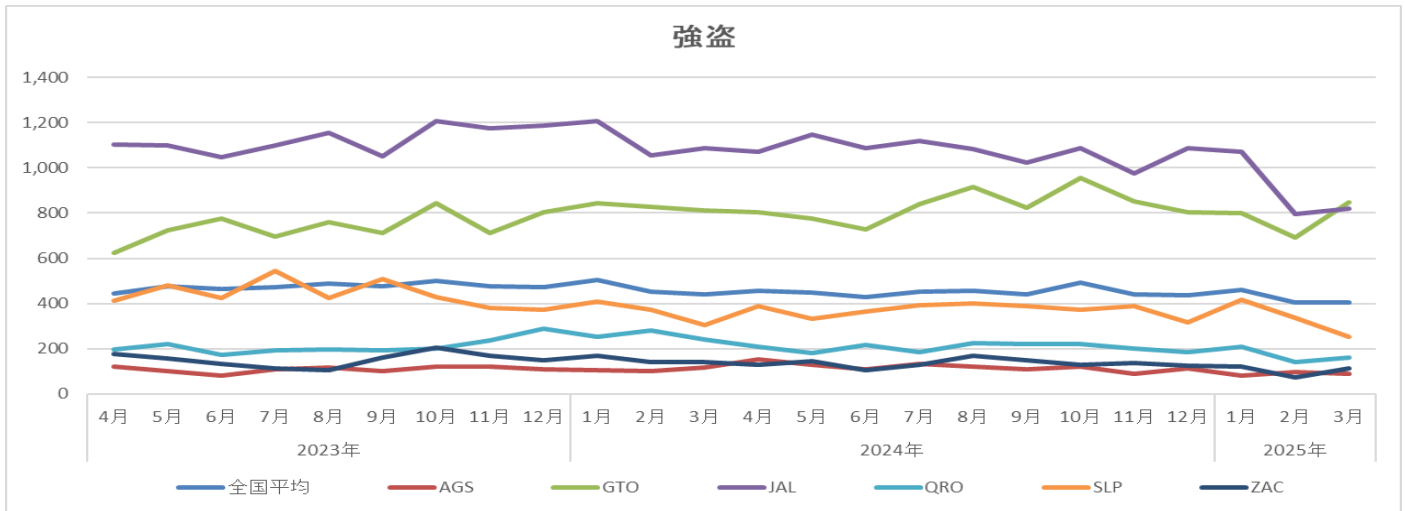
1 治安・社会情勢

メキシコ国内では複数の麻薬カルテルが存在しており、殺人の多くは麻薬カルテルによる抗争が大きく関係していると言われています。特にグアナファト州は、サンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル（CSRL）とハリスコ新世代カルテル（CJNG）との抗争が数年間続いている影響もあり、殺人が最も多く発生している州であり、2024年は2,568件で全国1位でした。近年ではCSRLは弱体化していると言われておりますが、CJNGがCSRLの支配地を奪おうとして抗争が活発化している地区もあり、抗争はしばらく続くと考えられます。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者などの犯罪組織に関わる者や治安当局関係者と言われていますが、カルテル同士の銃撃戦に一般市民が巻き込まれる可能性があるほか、誤認により殺害されるケースも見られるため十分注意が必要です。

グアナファト州では特にセラヤ市からアパセオ・エル・グランデ市周辺の連邦高速道路45D号線で、車両強盗事件が多発しており、邦人も被害に遭っているほか、レオン市など邦人が多く在住する都市においても殺人事件が増加しているとの報道もあります。

メキシコではいずれの州においてもカルテルが活動しており、複数のカルテルが1つの州内で活動しているのがほとんどで、カルテル同士で協定を結び上手く棲み分けしている州（地域）は殺人が少ない傾向にあります。グアナファト州やサカテカス州のように、何かのきっかけで抗争が始まり、治安が急激に悪化した州もあります。また、一般的に治安が安定していると言われる州においても、カルテルの犯行と思われる犯罪や誘拐事件などが発生しておりますので、治安情報は常に新しい情報を入手するよう心掛けて下さい。





2 管轄地域内における一般犯罪の傾向

(1) グアナファト州

・人口約616万人 犯罪認知総数（1月～3月）40,979件

殺人の件数は2022年から増加傾向にあり、引き続きカルテルによる事件は継続すると考えられます。当地報道によると、特にセラヤ市ではカルテルの抗争により、2024年8月は被害者が80人を超える殺人事件が発生しております。また、強盗被害も依然として多く発生しており、都市間の移動は時間帯など考慮して運行計画を立てる事も重要ですが、通勤時間帯に車両強盗被害に遭う事件も継続して発生しており、一般的な対策だけでは防ぐことができません。更に、同地域では高速道路上（特に連邦高速道路45D号線）での強盗被害も多く、昨年1年間で発生した邦人被害は6件（当館へ報告いただいた被害のみ）。被害者の国籍に関係無く、SUVタイプ、ピックアップタイプの車両が狙われやすい傾向にあります。

走行中の車両に犯人車両が並走し銃器で脅して車両を強奪する事件や、被害者が一時的に犯人車両に監禁される事件、さらには強盗目的で歩道橋から投石し、車両を強制的に停車させるような手口による事件が日中・夜間関係無く発生しています。万が一同被害に遭ってしまった場合は、相手を刺激せず命を守るような行動をとって下さい。

・邦人被害（1月～3月）3件（車上狙い被害3件）

●車上狙い被害

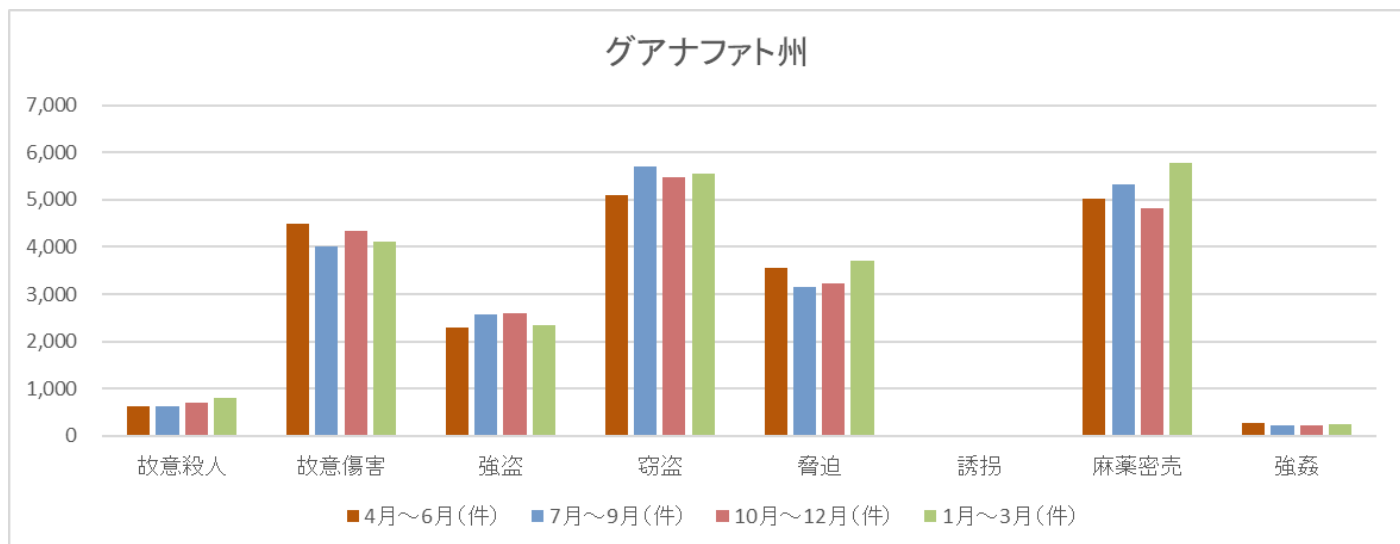
1月31日22時30分頃、邦人男性（企業駐在員）がイラプアト市内の店舗へ車両で移動、車両は店舗前に路上駐車した。店舗に30分ほど滞在し車両に戻ったところ、助手席側の窓ガラスが割られ、車内に設置していたドライブレコーダーが盗まれていた。車両に損傷は無く走行可能であったため、そのまま帰宅した。

2月14日20時頃、企業駐在員及び出張者の合計3名がサランカ市内の店舗へ車両で移動、車両は店舗前に駐車した。店舗に30分ほど滞在し車両に戻ったところ、運転手席側後部座席の窓ガラスが割られ、トランクに見えないようにして置いていた出張者のパスポートや財布等が入ったバックが盗まれていた。車両は店内からは見えない位置に駐車していた。当時5台以上が近くに駐車されており、3台程同様の被害に遭っていた様子であった。

3月12日20時50分頃、邦人男性1名（企業駐在員）がイラプアト市45号線沿いのガソリンスタンド併設コンビニエンスストアへ立ち寄った。店内で5分程買い物し車両に戻ったところ、車両左側後方の窓ガラスが割られていた。助手席足元に外から見えないよう置いていた鞆（財布、パスポート等）を盗難された。

→ 車上狙いに遭わないためにも路上駐車はせず、公共の駐車場を利用してください。路上駐車となるのが事前に分かった場合は、自家用車を利用せず、配車アプリ等の利用を検討してください。また、僅かな時間であっても車から離れる際は鍵を掛けて、パソコンやスマートホン、パスポートなどの貴重品やバッグは、車内に残さず必ず携行するか、外出時に不必要なものは、なるべく持ち出さないようにしてください。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
殺人	622	638	693	800
傷害	4,481	4,020	4,328	4,106
強盗	2,306	2,578	2,610	2,336
窃盗	5,109	5,704	5,470	5,542
脅迫	3,563	3,163	3,226	3,702
誘拐	4	3	0	1
麻薬密売	5,018	5,333	4,821	5,771
強姦	281	223	227	241



(2) アグアスカリエンテス州

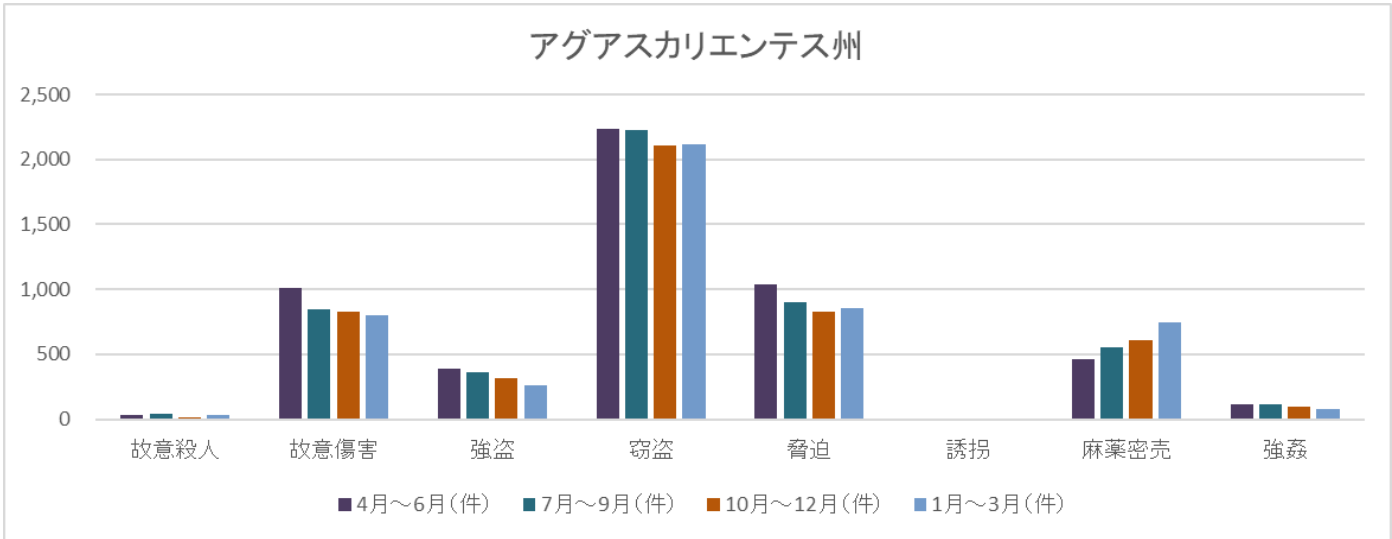
・人口約142万人 犯罪認知総数(1月～3月)10,342件

犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率(人口の割合)では窃盗や強盗の割合が高い州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市内で発生しており、窃盗の中でも特に車上荒らしは邦人被害が多いため、駐車する位置は人目の多いところを意識して選定し、貴重品は絶対に車内に残さないよう徹底して下さい。

・邦人被害(1月～3月)0件

1月～3月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
殺人	36	41	14	31
傷害	1,014	847	827	799
強盗	388	360	318	265
窃盗	2,237	2,224	2,109	2,115
脅迫	1,038	902	826	857
誘拐	0	0	0	0
麻薬密売	462	551	605	742
強姦	115	119	99	83



(3) ハリスコ州

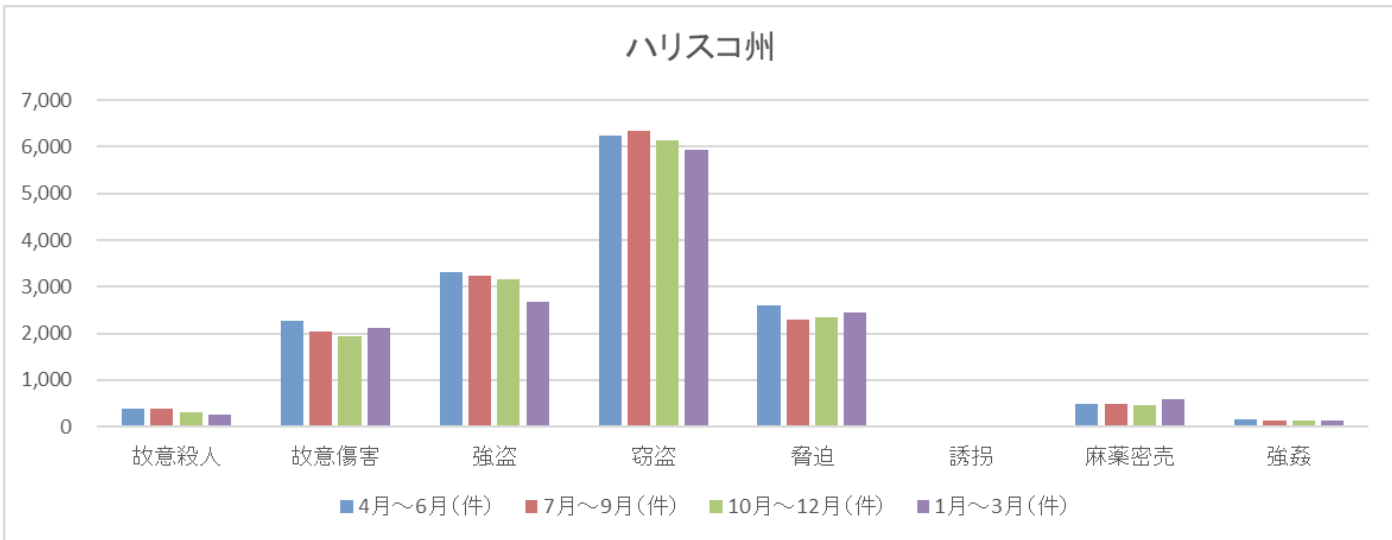
・人口約 8 3 4 万人 犯罪認知総数（1 月～3 月）2 9, 1 6 3 件

窃盗及び強盗が非常に多く発生している州です。強盗は邦人被害件数も多い犯罪で、銃器を使用した犯行となっていることから、一歩間違えれば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く、注意が必要です。高速道路路上でも被害が発生しており、とりわけ早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。旅行者、出張者と分かるような格好はターゲットにされるリスクも高くなりますのでご注意ください。

・邦人被害（1 月～3 月）0 件

1 月～3 月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4 月～6 月(件)	7 月～9 月(件)	10 月～12 月(件)	1 月～3 月(件)
殺人	381	380	320	271
傷害	2,277	2,029	1,942	2,108
強盗	3,306	3,230	3,151	2,688
窃盗	6,246	6,346	6,149	5,934
脅迫	2,601	2,301	2,349	2,460
誘拐	5	2	3	3
麻薬密売	481	477	457	591
強姦	150	142	133	122



(4) ケレタロ州

・人口約236万人 犯罪認知総数（1月～3月）14,385件

殺人の件数は少ないですが、犯罪の多くがケレタロ市内で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナファト州やメキシコ州の治安が悪いため、州境での車両強盗被害も目立ちますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路を利用して下さい。

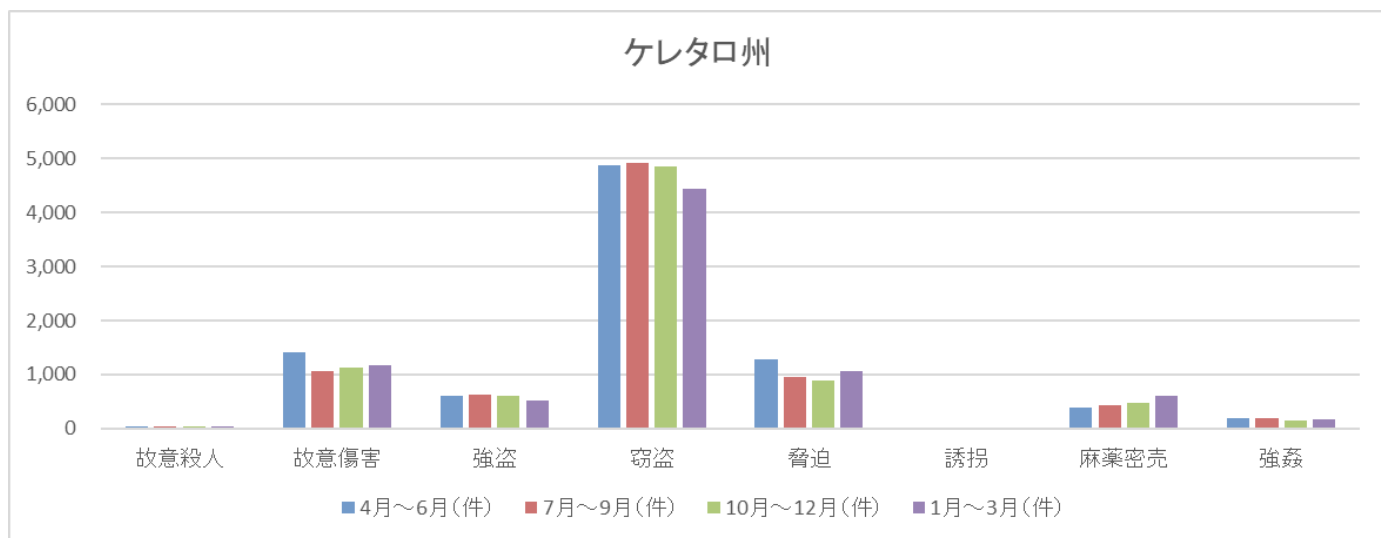
・邦人被害（1月～3月）1件（路上強盗被害1件）

●車上狙い被害

3月28日23時頃、邦人男性1名（企業駐在員）がフリキージャ市内のレストランから自宅（同市内）へ車で向かっていたところ、大通りに出る交差点で3名の犯人グループに停車させられた。犯人に車から降りるよう指示され、車から降りた後に犯人から殴打され、財布を奪われた。

→ 強盗に遭遇してしまった場合には、犯人は拳銃やナイフ等の武器を所持している可能性があるため、自分自身の命を優先し、抵抗せず相手の指示に従って下さい。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
殺人	40	49	43	42
傷害	1,406	1,057	1,134	1,179
強盗	605	629	606	508
窃盗	4,867	4,916	4,845	4,450
脅迫	1,292	956	897	1,061
誘拐	0	2	1	0
麻薬密売	379	435	483	610
強姦	196	198	149	170



(5) サンルイスポトシ州

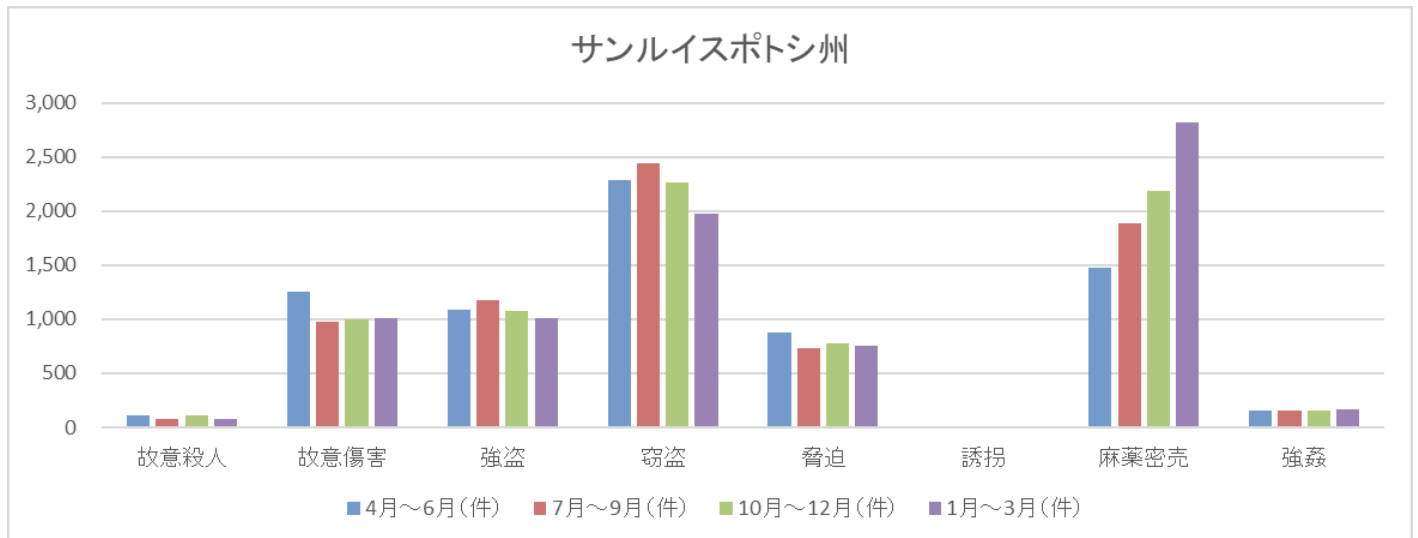
・人口約282万人 犯罪認知総数（1月～3月）15,263件

強盗件数は年々増加傾向となっており、その発生率（人口の割合）も高くなっています。また、麻薬に関連する犯罪も顕著に増加しており治安が悪化する傾向にあります。今のところ、目立ったカルテルの抗争は見られませんが、州東部では移民を狙ったと思われる誘拐事件也多発しておりますので、十分注意をして下さい。

・邦人被害（1月～3月）0件

1月～3月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
殺人	106	81	109	80
傷害	1,254	972	998	1,005
強盗	1,083	1,179	1,079	1,005
窃盗	2,280	2,442	2,258	1,971
脅迫	877	736	782	759
誘拐	0	2	0	1
麻薬密売	1,477	1,891	2,180	2,820
強姦	156	153	159	161



(6) サカテカス州

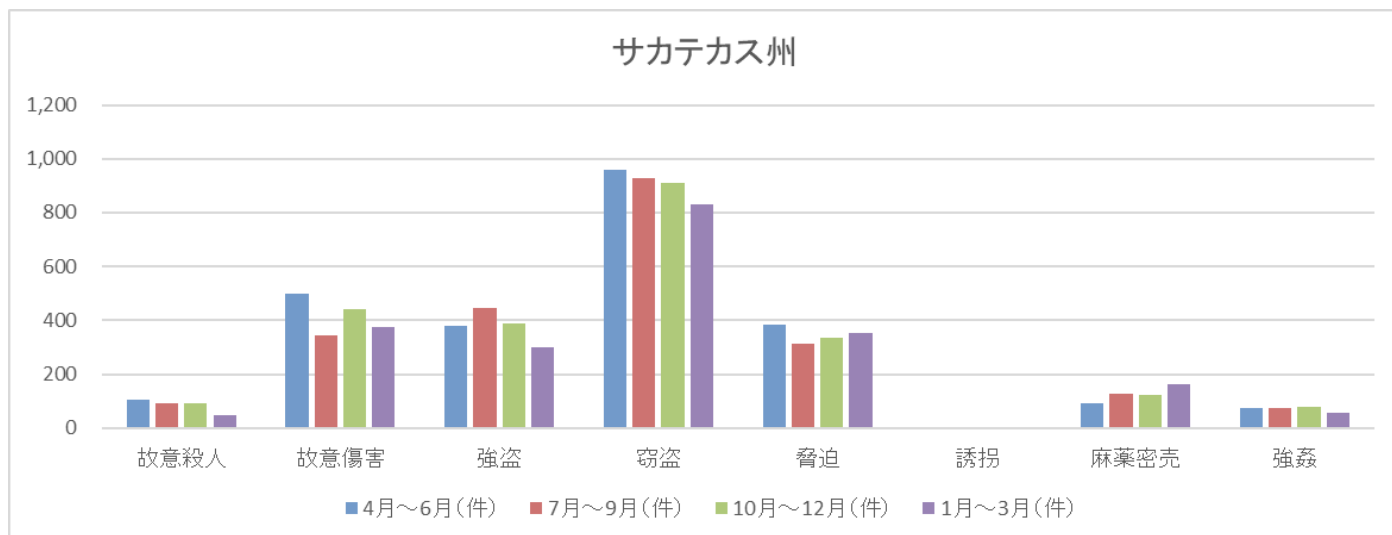
・人口約162万人 犯罪認知総数(1月～3月) 5,946件

殺人の発生率(人口の割合)は、他の州と比べても非常に高い数値となっています。殺人の多くは麻薬関係者と言われていますが、サカテカス州では複数の麻薬カルテルが抗争を行っているため、十分注意が必要です。

・邦人被害(1月～3月) 0件

1月～3月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
殺人	105	90	91	47
傷害	498	345	442	374
強盗	378	445	388	301
窃盗	960	926	912	829
脅迫	386	314	336	351
誘拐	1	2	3	1
麻薬密売	93	129	123	162
強姦	76	75	80	58



3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) メキシコ国内では、麻薬に係る犯罪組織の抗争が活発化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやクラブ等の出入りについて極力避けるとともに、違法薬物には一切かかわらないことが大切です。また昼夜を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、発砲事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の状況に注意して下さい。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域の通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げるのが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる殺傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従って下さい。
- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車上荒らしが引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品を放置しないよう注意が必要です。
- (4) バヒオ地域内では、車上狙い被害や連邦高速道路45D号線上の強盗被害が目立ちます。連邦高速道路45D号線を利用する際は、可能な限り日中移動と複数人、複数台で行動し、行動スケジュールを家族、友人、会社へ事前に伝えておくことや、緊急連絡先をメモし携帯しておく、グアナファト州警察が提供するアプリ「EmergenciasGT0911」をダウンロードしておく、などの対策を検討下さい。万が一強盗被害に遭遇してしまったら、気持ちを落ち着かせましょう。犯人は拳銃等を所持している可能性が非常に高いため、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先して下さい。犯人から解放されたら、周囲に助けを求め、911番（警察、消防、救急への緊急通報番号）に通報するとともに、検察局に被害届けを提出して下さい。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず911番通報を行うよう心掛けて、検察局（Fiscalía General）に被害届を提出して下さい。被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様にご注意喚起することができます。また、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができますので、ご協力をお願い致します。

5 バヒオ地域以外における日本人被害の犯罪発生状況

在メキシコ大使館ホームページの「安全情報」に邦人被害一覧を掲載していますので、ご参照下さい。

URL: https://www.mx.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/seguridad_anzen.html

以上